

海外安全対策情報（平成29年1～3月期における治安・犯罪の発生状況）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は総じて安定している。NSW州全体で見れば、主要犯罪の発生率は前年比減少又は増減なしである。また、特に犯罪の増加している地域は、

Far West and Orana：犯罪発生率がNSW州平均の約2倍

Newcastle and Lake Macquarie：

窃盗（店舗を対象）等4罪種において発生率が増加となっている。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○ シドニー地域

City and Inner South：窃盗（店舗を対象）(+19.0%)

Northsydney and Hornsby：暴行・傷害（DVなし）(+14.9%)

Ryde：窃盗（住居を対象）(+22.8%)

South West：暴行・傷害（DVなし）(+14.3%)

○ Far West and Orana：窃盗（乗物盗）(+28.1%)、 窃盗（店舗を対象）(+28.0%)

○ Murray:窃盗（車上ねらい）(+25.5%)

○ New England and North West：窃盗（住居を対象）(+20.8%)

○ New Castle and Lake Macquarie：窃盗（店舗を対象）(+19.6%)

(2) 北部準州

治安情勢は総じて安定している。暴行、脅迫、性犯罪等の人に対する犯罪は減少（-4.1%）しているが、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は増加（+13.1%）している。特に、商業施設に対する窃盗が大幅に増加（+35.6%）している。

2 テロ・爆弾事件発生状況

ヨーロッパでのテロ発生状況等を鑑み、引き続きホーム・グロウン・テロリストによるテロの可能性について警戒する必要がある。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知されていない。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

特段注意を要する事件・情報は認知されていない。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2016年4月から2017年3月までの1年間と前年同期との増減率）。